

モリ田守センター カエル類調査 結果入力用フォーム ver4.31

2023年6月3日

サイト名	モリ田守センター
調査シーズン	23-24年
担当担当者名	萩原 嘉和(PR)

1班 調査結果

綱名	目名	科名		和名	学名	RDBランク		班	備考	
						国	県			
両生綱	無尾目	ヒキガエル科	Bufonidae	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>		NT			
		アマガエル科	Hylidae	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>			1	9匹(水路1、畔4、畑4)	
		アカガエル科	Ranidae	タゴガエル	<i>Rana tagoi tagoi</i>					
			Ranidae	トウキョウダルマガエル	<i>Rana porosa porosa</i>	NT	NT	1	4匹(畔1、畑3)	
			Ranidae	ツチガエル	<i>Rana rugosa</i>					
			Ranidae	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>		NT			
			Ranidae	ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>		要注目			
			Ranidae	ヌマガエル	<i>Rana limnocharis</i>			1	1匹?(畑1)	
		Ranidae	タゴガエル	<i>Rana tagoi</i>						
		アオガエル科	Rhacophoridae	シュレーゲルアオガエル	<i>Rhacophorus schlegelii</i>		NT	1	卵塊 2つ	
								1班	合計 14匹	

2班 調査結果

綱名	目名	科名		和名	学名	RDBランク		班	備考	
						国	県			
両生綱	無尾目	ヒキガエル科	Bufonidae	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>		NT			
		アマガエル科	Hylidae	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>			2	1匹	
		アカガエル科	Ranidae	タゴガエル	<i>Rana tagoi tagoi</i>					
			Ranidae	トウキョウダルマガエル	<i>Rana porosa porosa</i>	NT	NT	2	1匹	
			Ranidae	ツチガエル	<i>Rana rugosa</i>					
			Ranidae	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>		NT			
			Ranidae	ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>		要注目			
			Ranidae	ヌマガエル	<i>Rana limnocharis</i>			2	オタマジャクシ	
		Ranidae	タゴガエル	<i>Rana tagoi</i>						
		アオガエル科	Rhacophoridae	シュレーゲルアオガエル	<i>Rhacophorus schlegelii</i>		NT	2	1匹+卵塊	
								2班	合計 5匹(不明含む)	

3班 調査結果

綱名	目名	科名		和名	学名	RDBランク		班	備考	
						国	県			
両生綱	無尾目	ヒキガエル科	Bufonidae	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>		NT			
		アマガエル科	Hylidae	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>			3	オタマジャクシ	
		アカガエル科	Ranidae	タゴガエル	<i>Rana tagoi tagoi</i>					
			Ranidae	トウキョウダルマガエル	<i>Rana porosa porosa</i>	NT	NT	3	オタマジャクシ	
			Ranidae	ツチガエル	<i>Rana rugosa</i>					
			Ranidae	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>		NT			
			Ranidae	ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>		要注目			
			Ranidae	ヌマガエル	<i>Rana limnocharis</i>					
		Ranidae	タゴガエル	<i>Rana tagoi</i>						
		アオガエル科	Rhacophoridae	シュレーゲルアオガエル	<i>Rhacophorus schlegelii</i>		NT			
								3班	合計 8匹(目視)	

4班 調査結果

2023年6月3日

綱名	目名	科名		和名	学名	RDBランク		班	備考	
						国	県			
両生綱	無尾目	ヒキガエル科	Bufoidea	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>		NT			
		アマガエル科	Hylidae	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>					
		アカガエル科	Ranidae	タゴガエル	<i>Rana tagoi tagoi</i>					
			Ranidae	トウキョウダルマガエル	<i>Rana porosa porosa</i>	NT	NT			
			Ranidae	ツチガエル	<i>Rana rugosa</i>			4		1匹
			Ranidae	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>		NT	4		卵塊
			Ranidae	ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>		要注目	4		卵塊
			Ranidae	ヌマガエル	<i>Rana limnocharis</i>			4		2匹
		Ranidae	タゴガエル	<i>Rana tagoi</i>						
		アオガエル科	Rhacophoridae	シュレーゲルアオガエル	<i>Rhacophorus schlegelii</i>		NT			卵塊 1つ
								3班	合計 3匹(目視 10匹)	

環境省・生物多様性センター 生物情報収集・提供システム <https://ikilog.biodic.go.jp/>
 国(2020年版)・・・CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧
 県・・・栃木県指定『レッドデータブックとちぎ 2023』(栃木県、2023年3月) 記載種
 絶滅:絶滅種 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 要注目:注目すべき生物
 国外外来種:主に明治時代以降人間の影響によって国外から移入され、その地域において自然繁殖している種

調査条件							
調査年月日							
年	月	日	開始時間	終了時間	主担当者以外の調査参加者	参加人数	調査条件の備考
2023	6	3	13:30	14:30	1班:(リーダー)萩原、他 7名(大人 5名+子ども3名)	8	初調査。 「田9」山側の田んぼの水が浅いところにシュレーゲルアオガエルの卵塊。この近くからシュレーゲルの鳴き声が聞えた。 「畑1」畑の方がカエルの数が多い。餌が多いからか?畑にもアマガエルが沢山いる。 トウキョウダルマ3匹、背中線ある茶色いカエル1匹、ヌマガエル(口が細い、戦あるのとないのがいる。腹が白い。ここ10年の愛犬に関西から北上している。元々佐野にはいなかった)
2023	6	3	13:30	14:30	2班:(リーダー)菅原、他 3名(大人 4名)	4	初調査。 畔の方に余りカエルいない。日当たりが良いので、水温が高いため。 ヌマガエルのオタマジャクシは多い。温かさに強い。 シュレーゲルアオガエルの卵塊あり。卵は白素がなくて黄色。
2023	6	3	13:30	14:30	3班:(リーダー)飯高、他 3名(大人 4名)	4	初調査。 田んぼ中にオタマジャクシ(ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエル)は沢山いるが、カエルが少ない。トンボの幼虫も発見
2023	6	3	13:30	14:30	4班:(リーダー)山田、他 4名(大人 5名)	5	初調査。 一番水源近くの田で、休耕田。水は冬から張った状態で、アカガエル、ヤマアカガエルの卵塊あり。水がずっとあるところに、アカガエル、ヤマアカガエルは卵を生むようだ。 「田1」は、モリ田守センターの棚田 最上段の水源近くで、冬から水を絶やさず長期に水辺をキープ。水棲生物が長期に渡って生息できる環境づくりを行っていた。

調査年月日			開始時間	終了時間	主担当者以外の調査参加者	参加人数	調査条件の調査結果
年	月	日					
2023	6	3	13:30	14:30	有識者:青柳先生	1	カエルのいる場所には理由がある。 多様な環境が影響している。 土水路は昆虫がしやすい環境のため、カエルも餌を確保しやすい ●1班(田9、畑1)には、大量のカエル、卵塊がいた。 畑に餌があったのも理由では。 また、(田9、畑1)は、1週間前に水入れた。 シューレーゲルアオガエルは水を入れたタイミングを見計らって卵を生んだのでは。 ●2班(田5~8)は、日当たりがよく水温が高いため、カエルは少なく、オタマジャクシは多い。(田5~8)の水入れは約2週間前 ●3班(田3~4)もカエルが少なく、オタマジャクシは多い。(田3~4)の水入れは約2週間前 ●4班(田1~2)は、一番水源近くの田で、休耕田。水は冬から張った状態で、アカガエル、ヤマアカガエルの卵塊あり。「田1」は、モリ田守センターの棚田 最上段の水源近くで、冬から水を絶やさず長期に水辺をキープしていて、他の田とは異なるアカガエル、ヤマアカガエルの卵塊があったのは、水がずっとあるところ。 ★田に水が入った時期がそれぞれ違う。そのため、カエルは環境を選んで、卵を生み、育つことが出来る。水を入れる時期とカエルの種は密接な関係あり。
2023	6	3	13:30	14:30	管理者:赤堀 雅人氏	1	
4チーム 合計						23	

調査地区ごとの環境条件	調査地区名	調査方法 (通常orサンプリング法)	地区内に含まれる水辺タイプ(○か×を記入)				水辺環境の状態		森林との連続性		その他備考
			水田	休耕・放棄田	水路	池・沼	圃場整備の状況	水田での休耕・放棄の割合	地区が森林に接している	U字溝や舗装道路を挟まずに接している森がある	
	1班	通常	○	○	○	×	一部	一部	大部分	はい	
	2班	通常	○	×	○	×	全体	無し	大部分	はい	
	3班	通常	○	×	○	×	全体	無し	大部分	はい	
	4班	通常	×	○	○	×	一部	全部	大部分	はい	

新たな卵塊数						
調査年月日	調査地区名	区画名	新卵塊数			備考
			ニホンアカガエル	ヤマアカガエル	シューレーゲルアオガエル	
2023/6/3	1班	田9と畑1			2	
2023/6/3	2班	田5~8			1	
2023/6/3	4班	田1~2	1	1	1	